

# 『食文化あふれる国・日本』プロジェクト

令和3年度予算額（案） 149百万円  
（前年度予算額） 45百万円

- 我が国には、豊かな自然風土と精神性、歴史に根差した、世界に誇る多様な食文化が存在。平成25年12月にはユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録され、平成29年6月に改正された「文化芸術基本法」では、「食文化」の振興を図ることが明記。
- 一方、地方の過疎化や生活様式・嗜好の変化等により、食文化は急激に変容しており、その継承・振興は喫緊の課題。
- このため、特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル事例を形成するとともに、文化財指定等に向けた調査研究等を推進し、食文化の継承・振興と、それによる地域の活力向上を図る。

## 普及啓発等 113百万円

### 1. 「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業

特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル地域等に対し、その文化的価値を伝える「食文化ストーリー」の構築・発信等を支援（ストーリー構築等調査、文化財指定等に向けた報告書作成、体験や学びの提供、食文化継承・発信の担い手育成等）し、モデル事例を形成。

【実施主体】 地方自治体、協議会、民間団体等 【補助率】 定額

### 2. 食文化機運醸成事業

機運醸成の核となる食文化の担い手や研究者のシンポジウム開催、文化や食のイベント等との連携、オンラインによる情報発信により、国民の食文化への理解を深める。

【実施主体】 民間団体等（委託）

## 調査研究 36百万円

- ・文化財指定等に向けた国内外の食文化の現況調査
- ・食文化研究のプラットフォーム（食文化センター）に必要な機能の調査・検討
- ・食文化インバウンド促進のための動向調査

【実施主体】 民間団体等（委託）

## 地方の過疎化、生活様式・嗜好の変化（共働き、中食・外食の増加など）

### 食文化“消失”の危機

①食文化の地域や家庭での継承が困難

「子どもたちや外国の人に食文化を伝えている国民の割合」 40.7% (2018)<sup>(1)</sup>

「郷土に伝わる料理を受け継ぐ意識」 14.1% (2015)<sup>(2)</sup>

「郷土料理を作る割合（Y県事例）（2019）」  
郷土料理A 20～30代：13%（60～80代：63%）  
郷土料理B 50代以下：ほとんどなし（60～80代：26%）<sup>(3)</sup>

②伝統的な「わざ」の継承も課題

「料亭（日本料理の「わざ」の伝承の場）の減少」 過去30年間で▲93%

食文化の継承は  
喫緊の課題！

### 必要な施策

○地方自治体等による継承・振興活動、調査研究の促進

○食文化への国民理解

○食文化教育の充実

○文化財保護法に基づく保護措置等  
・指定等に必要の調査研究、枠組み整備  
・地方自治体等の記録を活用した制度の検討

### 施策の効果

食文化の担い手を拡大し、多様な食文化を継承・振興・発信

食はインバウンドの重要コンテンツ

「訪日外国人が期待すること」  
一位：日本食を食べること（69.7%）<sup>(4)</sup>

インバウンド誘致、地域・産業の活性化

経済的価値の向上を、文化の継承・振興に生かす

# 「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業の概要

- 特色ある食文化の継承・振興に取り組む地方公共団体等に対し、調査研究による文化的価値の明確化や文化的背景を分かりやすく伝える「食文化ストーリー」の構築・発信等を支援し、モデル事例を形成。

## 食文化の継承・振興に向けた課題

自然や歴史の反映された食文化は我が国の文化遺産。

- しかしながら、国・地方を通じて食文化の文化財指定は進んでおらず、その文化的価値が不明確。
- 一方、コロナにより食文化を支える地域・食産業が打撃。

## 事業内容

通常国会で審議予定の文化財保護法の一部改正法案（食文化等の保存・活用に資する無形の文化財の登録制度の創設等）を踏まえ、その活用を図るため、モデル事例を形成。

### ○実施主体

特色ある食文化や伝統的なわざの継承・振興に取り組む地方公共団体、協議会、民間団体等

### ○補助率

定額

### ○補助対象となる取組

#### 【調査研究（文化的価値の明確化）】

- ・ 有識者検討会の開催
- ・ 文献調査、実地調査
- ・ 報告書・記録動画等の作成

※ 国及び自治体による文化財登録等に資する調査研究が対象

### ○主な要件

調査研究の結果を報告書に取りまとめるとともに、食文化の文化的背景を分かりやすく伝える「食文化ストーリー」を作成

### 【保護継承】

- ・ シンポジウム等の開催
- ・ 食文化教育・体験の実施
- ・ 継承団体の育成
- ・ 食文化振興に取り組む者の顕彰

### 【発信等】

- ・ 食文化の文化的背景を伝える食文化ストーリーの構築・発信等
- ・ 食関連施設等を活用した食文化の発信・体験 等

### 【事例① 西阿波地域の雑穀食】

#### [食文化の特徴]

急傾斜地で水利も悪い自然条件を背景に、そば米がゆ、きび・ひえ料理などの雑穀料理が伝統的に食されている。

※ 雑穀食は、かつては全国で見られたが、広域で継承されているのは全国的にも稀有



### 【事例② 京懐石の技と習俗】

#### [食文化の特徴]

本膳料理・懐石料理に源を有するとされる伝統的な料理。創意工夫により季節感等を表現する調理技術にとどまらず、器・しつらいや接遇を含めたおもてなし文化として海外からも評価。

## 成果

無形の文化財の登録制度の普及

食文化の継承・住民の誇りの醸成

食文化を活かした観光等による地域活性化